

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	大町市内観光周遊促進事業
事業主体 (連絡先)	大町市産業観光部観光課 大町市大町 3887 番地
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり (8) その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,136,890 円 (うち支援金 : 2,201,000 円)

事業内容

立山黒部アルペンルート及び黒部ダム以外の市内観光地を活用しての市内宿泊者満足度向上、夜間の観光コンテンツ充実、観光客及び市民の回遊性向上を目指し、夏期に木崎湖シャトルバス、秋期に歴史的建造物等への夜間ライトアップと市内在住の日展工芸作家展へのライトアップイベントを実施。

【実施場所、期間】

- ・木崎湖シャトルバス：令和5年7月1日～令和5年9月18日(土日祝日のみ運行 6便/日)
- ・仁科神明宮：令和5年9月17日～令和5年9月24日
- ・霊松寺：令和5年10月28日～令和5年11月5日
(日展工芸作家展は霊松寺と同日程)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①当市の歴史的建造物である仁科神明宮、霊松寺において夜間ライトアップを開催するとともに、新たに夏期の木崎湖シャトルバス、霊松寺日中における作品展へのライトアップも実施したことで、更なる観光客の回遊性や市内の観光資源の認知度向上につながった。
- ②累計来場者数は、仁科神明宮が 540 人、霊松寺は日中の作家展が 30,277 人、夜間ライトアップが 2,256 人、木崎湖シャトルバスが 98 人となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

季節ごとに地域を盛り上げるコンテンツとして、本事業は一定の効果を挙げられた。今後の展開として、来年度大町市にて開催される『北アルプス国際芸術祭 2024』との連携を見据え、芸術祭開催期間中の来場者満足度向上はもちろん、芸術祭終了後も大町市を訪れてもらえるよう、持続可能な観光地としての発展に取り組んでいく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【木崎湖シャトルバス及び仁科神明宮、霊松寺ライトアップ実施の様子】

【目標・ねらい】

- ①観光客の満足度向上。
- ②歴史ある地域資源の観光地としての活用。
- ③観光客及び市民の回遊性向上。

※自己評価 【 B 】

【理由】

- ・ライトアップは昨年度の同イベントと比べ累計来場者数が増加
- ・霊松寺作家展には予想を上回って多くの来場者にお越しいただいた。
- ・木崎湖シャトルバスは新規事業の周知方法について課題が残った。